

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 特定非営利活動法人 日本語教育ボランティア協会

1. 事業名称

24年度 ジャボラ NPO 文化庁委託事業

2. 事業の目的

地域住民に在住する成人外国人への日本語教育を行うとともに、地域のボランティア育成に貢献する。

3. 事業内容の概要

- ・「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案に沿った成人外国人への日本語教室
- ・外国人児童生徒支援のためのボランティア研修会及び外国人支援のためのポルトガル語講座
- ・「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案に沿ったオリジナルテキスト作成

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年7月19日 18:00~20:00	2時間	ジャボラNPO事務所	松岡真理恵、河合世津美、藤田美幸、岩永府子、(佐藤牧子、杉浦公子、内藤ひで子、内山ワリソン、田村鮎美、丸尾正子)	今年度事業の紹介	運営委員及び指導者等その他出席者自己紹介。事業内容の詳細説明。質疑応答。

【写真】



5. 日本語教室の設置・運営

(1) 講座名称

ジャボラ NPO にほんご教室

(2) 目的・目標

地域で暮らす外国人住民と日本人との健全な共生社会に寄与する。また、日本語教育を通じて、生活に必要な会話指導、識字指導を行うことで、生活及び仕事に活かすことができる成人外国人に対する実践的な日本語教育を行う。

(3) 対象者

地域在住の成人外国人

(4) 開催時間数(回数) 会話各クラス51時間 (全 34 回)

識字クラス 33 時間 (全 33 回)

(5) 使用した教材・リソース

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案を基にして作成したオリジナルテキスト及び教材

(6) 受講者の総数 90 人

(出身・国籍別内訳 インド 36 人、インドネシア 16 人、ペルー11 人、中国 7 人、ブラジル 5 人、フィリピン 5 人、アメリカ 2 人、ネパール 2 人、マレーシア 1 人、イスラエル 1 人、スペイン 1 人、カナダ 1 人、ジャマイカ 1 人、韓国 1 人)

(7) 受講者の募集方法

当協会ホームページにて募集・告知を行う。また、浜松国際交流協会発行のニュースレターに掲載、企業等への教室告知、チラシ配布。

(8) 日本語教室の具体的内容

回数	開催日時	時間数	参加人数	国籍	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年7月7日 19:10～20:40	1.5 時間	5 人	インド(2名)、ネパール(2名)、ブラジル(1名)	隣人に要件を伝えて、助けを求める	隣に住む人に、自分の症状を伝え、どの病院に行けばいいか尋ねる会話練習をする。
2	平成24年7月14日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(2名)、ネパール(2名)、ブラジル(3名)	隣人に要件を伝えて、助けを求める	緊急時に助けに来てもらえるよう、自宅周辺にある目印の場所を説明することができるようにする。
3	平成24年7月21日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(2名)、ネパール(2名)、ブラジル(3名)	隣人に要件を伝えて、助けを求める	外科、内科など、専門科名を学習。ステップアップとして、これらの言葉を使って病院を尋ねる練習をする。
4	平成24年7月28日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(2名)、ネパール(2名)、ブラジル(3名)	初診受付で手続きをする	受付で症状と初診である旨を伝える練習をする。
5	平成24年8月4日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(2名)、ネパール(2名)、ブラジル(3名)	初診受付で手続きをする	総合病院を場面にし、総合病院での受付から診察を受け、処方箋をもらうまでの流れをロールプレイで練習する。
6	平成24年8月18日 19:10～20:40	1.5 時間	5 人	インド(2名)、ネパール(2名)、ブラジル(1名)	初診受付で手続きをする	問診票を記入する練習をする。氏名、性別など、問診票にある言葉を覚える。
7	平成24年8月25日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(2名)、ネパール(2名)、ブラジル(3名)	医師の診察を受ける	症状を表す言葉を覚え、受付から診察室に入り症状を伝えるまでのロールプレイを行う。
8	平成24年9月1日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(2名)、ネパール(2名)、ブラジル(3名)	医師の診察を受ける	口を開けるなど、医師の指示が理解できるようにする。ロールプレイで実際に動作を伴って練習する。
9	平成24年9月8日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(2名)、ネパール(2名)、ブラジル(3名)	医師の診察を受ける	くるぶし、肘など、詳細な体の名称を覚え、患部を詳しく伝えることができる。
10	平成24年9月15日 19:10～20:40	1.5 時間	6 人	インド(2名)、ネパール(2名)、ブラジル(2名)	病気への対処法・生活上の注意などを質問し、答えを理解する	健康を保つための医師からの指示を理解することができるようにする。
11	平成24年9月22日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(2名)、ネパール(2名)、ブラジル(3名)	病気への対処法・生活上の注意などを質問し、答えを理解する	健康にいいことと悪いことを分類させ、その中で新しい単語を覚えさせる。
12	平成24年9月29日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(2名)、ネパール(2名)、ブラジル(3名)	病気への対処法・生活上の注意などを質問し、答えを理解する	自分の一日の生活について話すことができる。また、健康のためにしていることを話す。
13	平成24年10月6日 19:10～20:40	1.5 時間	6 人	インド(2名)、ネパール(2名)、ブラジル(2名)	処方箋をもらう	処方箋をもらい、薬局へ行くことができる。薬局の場所が分からなかったら、尋ねることができる。
14	平成24年10月13日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(2名)、ネパール(2名)、ブラジル(3名)	処方箋をもらう	今までの復習を兼ね、薬局で薬をもらい、薬剤師からの質問に答えることができる。
15	平成24年10月20日 19:10～20:40	1.5 時間	5 人	インド(2名)、ネパール(2名)、ブラジル(1名)	処方箋をもらう	13回目から発展させ、より詳細に建物の所在地を表現できるようにする。
16	平成24年10月27日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(2名)、ネパール(2名)、ブラジル(3名)	薬剤師等の「効能、用法、注意」の説明を理解する	薬の種類と呼称を知る。また、処方された薬が何の薬であるか理解する。
17	平成24年11月10日 19:10～20:40	1.5 時間	8 人	インド(1名)、中国(1名)、ネパール(2名)、フィリピン(2名)、ブラジル(2名)	薬剤師等の「効能、用法、注意」の説明を理解する	薬の飲み方を理解することができる。
18	平成24年11月17日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インド(2名)、中国(1名)、ネパール(2名)、フィリピン(2名)、ブラジル(3名)	薬剤師等の「効能、用法、注意」の説明を理解する	復習として、薬局で薬をもらい何の薬であるか、どうやって飲むか確認する会話練習を行う。
19	平成24年11月24日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(2名)、ネパール(2名)、フィリピン(1名)、ブラジル(2名)	標識などを理解する	分からない言葉の意味を確認することができる。
20	平成24年12月1日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インド(2名)、中国(1名)、ネパール(2名)、フィリピン(2名)、ブラジル(3名)	標識などを理解する	町で見かける標識やマークの意味を知り、併せて禁止などの表現を理解する。
21	平成24年12月8日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インド(2名)、中国(1名)、ネパール(2名)、フィリピン(2名)、ブラジル(3名)	標識などを理解する	携帯電話の使用禁止などを注意された際、謝罪ができ、どこで使えるか聞くことができる。
22	平成24年12月15日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インド(2名)、中国(1名)、ネパール(2名)、フィリピン(2名)、ブラジル(3名)	救急車を要請する	救急車は緊急時のみ呼ぶことを理解し、要請する際には必要な情報が話せるよう会話練習をする。
23	平成24年12月22日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インド(2名)、中国(1名)、ネパール(2名)、フィリピン(2名)、ブラジル(3名)	学習発表会 ～防災～	クイズやゲームを通して、防災に関する知識と言葉を学んだ。
24	平成25年1月5日 19:10～20:40	1.5 時間	8 人	インド(2名)、中国(1名)、ネパール(2名)、フィリピン(2名)、ブラジル(2名)	救急車を要請する	119以外にどんな電話番号があるか知る。また、電話番号にちなんで、知人に電話番号を尋ねる練習をする。
25	平成25年1月12日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インド(2名)、中国(1名)、ネパール(2名)、フィリピン(2名)、ブラジル(3名)	救急車を要請する	自宅外で救急車を要請する場合、どこにいるか所在を伝えることができる。
26	平成25年1月19日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インド(2名)、中国(1名)、ネパール(2名)、フィリピン(2名)、ブラジル(3名)	避難場所・方法を理解する	学習者が各自の自宅から近い避難場所を確認する。また、警報の内容を理解する。
27	平成25年1月26日 19:10～20:40	1.5 時間	9 人	インド(2名)、中国(1名)、ネパール(1名)、フィリピン(2名)、ブラジル(3名)	避難場所・方法を理解する	地震に備えて、どんな防災用品があるか知る。また、何を常備しているか話す。

19	平成24年11月24日 19:10~20:40	1.5 時間	6 人	ペルー(5)ブラジル(1)	街の中の注意表示	街にある注意表示の意味を理解する。(駐車禁止、立ち入り禁止など) 家族、知人にもしてほしくないことを述べられる。
20	平成24年12月1日 19:10~20:40	1.5 時間	5 人	ペルー(4)ブラジル(1)	消費期限と賞味期限の違い。	食品の消費期限と賞味期限の違いを理解し、実際の食品で違いを把握する。
21	平成24年12月8日 19:10~20:40	1.5 時間	6 人	ペルー(5)ブラジル(1)	試着できますか。	服を買いに行った時の会話練習。(試着、サイズの変更色の変更、取り寄せができるかなど)
22	平成24年12月15日 19:10~20:40	1.5 時間	6 人	ペルー(5)ブラジル(1)	何ができますか。	自分のできることが言えたり、質問することができる。趣味について話すことができる。
23	平成24年12月22日 19:10~20:40	1.5 時間	7 人	ペルー(6)ブラジル(1)	学習発表会	各クラス選抜者のスピーチ 防災に関するゲーム。防災食の試食。
24	平成25年1月5日 19:10~20:40	1.5 時間	5 人	ペルー(4)ブラジル(1)	新年の挨拶、休日の過ごし方	日本の新年の挨拶の仕方、風習などを紹介する。自国の年末年始の過ごし方を発表しあう。
25	平成25年1月12日 19:10~20:40	1.5 時間	7 人	ペルー(6)ブラジル(1)	ドラッグストアに行ったことがあります。	日本へ来て体験したことについて質問したり、自分のことを話したりする。
26	平成25年1月19日 19:10~20:40	1.5 時間	5 人	ペルー(5)	休みの日に何をしましたか。	休みの日にしたことを2つ以上の言葉を使って話す。
27	平成25年1月26日 19:10~20:40	1.5 時間	5 人	ペルー(4)ブラジル(1)	バランスのいい食事とは。	どんな食生活をしているか発表しあう。ではバランスのいい食事って何かをチェックしながら話し合う。
28	平成25年2月2日 19:10~20:40	1.5 時間	5 人	ペルー(4)ブラジル(1)	レストランのメニューを理解する	和食系、洋食系、中華系の違いを理解する。レストランのメニューの言葉の内容を理解する。店員の説明を聞き、注文する。
29	平成25年2月9日 19:10~20:40	1.5 時間	7 人	ペルー(6)ブラジル(1)	友達言葉で話してみよう	今まで学習してきた言葉と友達言葉の違いを比べながらの会話練習
30	平成25年2月16日 19:10~20:40	1.5 時間	6 人	ペルー(5)ブラジル(1)	健康的に注意した生活	健康的な生活って何かを皆で話し合う。何かしている学習者がいたら話してもらおう。今回は血管に注目してチェック。
31	平成25年2月23日 19:10~20:40	1.5 時間	7 人	ペルー(6)ブラジル(1)	折り込み広告から品物を買う	折り込み広告(チラシ)の語彙の意味を理解し、広告からおすすめ品を買うことができる(買った品物から作る)
32	平成25年3月2日 19:10~20:40	1.5 時間	6 人	ペルー(5)ブラジル(1)	日本の伝統行事について紹介	日本の伝統行事(今回は正月、ひな祭り、子供の日)について紹介し、学習者の国の伝統行事を発表しあう。
33	平成25年3月9日 19:10~20:40	1.5 時間	7 人	ペルー(6)ブラジル(1)	口座振替を申し込む	金融機関の係り員の説明が理解でき、自分の希望を述べるができる。
34	平成25年3月16日 19:10~20:40	1.5 時間	7 人	ペルー(6)ブラジル(1)	火事、事故(交通事故、けが)にあったら	日本の警察、消防署の電話番号の確認。交通事故は一番にかけた方がいいの。通報者になって練習

ジャボラにほんご教室 報告書 日系人23~33 担当: 藤田美幸

回数	開催日時	時間数	参加人数	国籍	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年7月7日 19:10~20:40	1.5 時間	10 人	インドネシア(1)、インド(9)	交通手段を検討する	日ごろ利用している交通手段について話し合った。また、時間、料金など質問する練習を行った。
2	平成24年7月21日 19:10~20:40	1.5 時間	12 人	インドネシア(1)、インド(9)、ジャマイカ(1)、カナダ(1)	バスを利用する	バスの利用についてペアで会話練習を行った。その後、発表しあい、御用訂正を行った。
3	平成24年7月28日 19:10~20:40	1.5 時間	12 人	インドネシア(1)、インド(9)、ジャマイカ(1)、カナダ(1)	節電対策	節電する意義と日ごろ行っている節電対策について話し合った。
4	平成24年8月4日 19:10~20:40	1.5 時間	12 人	インドネシア(1)、インド(9)、ジャマイカ(1)、カナダ(1)	電車の中での落とし物	電車の中で落とし物をした設定を作り、対処の仕方を学んだ。
5	平成24年8月18日 19:10~20:40	1.5 時間	11 人	インドネシア(1)、インド(9)、ジャマイカ(1)	電車を利用する	電車の中で困った場面を想定し、助けの求め方や、忘れ物承り所での会話のやりとりについて学んだ。
6	平成24年8月25日 19:10~20:40	1.5 時間	10 人	インドネシア(1)、インド(9)	お得なきっぷ	青春18きっぷをとりあげ、紹介した。また、どのように使うか計画を立て、発表し合った。
7	平成24年9月1日 19:10~20:40	1.5 時間	11 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(9)	困っている状況を伝える	日常生活で困る場面を取り上げ、困っている状況を説明し、助けを求めることができた。
8	平成24年9月8日 19:10~20:40	1.5 時間	7 人	インドネシア(1)、インド(6)	道を探ねる	目的地への行き方を尋ね、道案内の表現を学びつつ理解できるように学習した。
9	平成24年9月15日 19:10~20:40	1.5 時間	10 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(8)	お礼の述べ方	直後に礼を述べることは知っていたが、次に会った時にまたお礼を述べることはほとんどの人が知らなかった。

10	平成24年9月22日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(8)	社内のけがや事故	今までけがや事故があったか、またどのように対処したのか話し合った。
11	平成24年9月29日 19:10～20:40	1.5 時間	9 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(7)	けがについて報告する	病院などでけがの状況について説明する練習をペアで行った。その後、発表し、御用訂正を行った。
12	平成24年10月6日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(8)	休憩時に会話をする	趣味や特技について近所の人と立ち話をする設定で会話練習を行った。
13	平成24年10月13日 19:10～20:40	1.5 時間	11 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(9)	飲みにも誘われる	職場の人間関係について、また休憩時間の過ごし方について話し合った。
14	平成24年10月20日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(8)	この間はどうも	上司からの指示に対し、結果報告する仕方を学んだ。また、目上の人からプレゼントをもらったと想定し、意見や感想を伝える練習を行った。
15	平成24年10月27日 19:10～20:40	1.5 時間	9 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(7)	誘いを受ける、断る	誘いの受け方、上手な断り方について考え、伝え方を練習する。また、新しいごみの出し方について学んだ。
16	平成24年11月3日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(8)	仕事について	現在の職場環境や仕事内容について話し合った。また、お互いにアドバイスをしあった。
17	平成24年11月10日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(5)	口頭で簡単に報告する	お願いや変更、許可をもらう際の理由の伝え方を学んだ。丁寧に言うように気をつけた。
18	平成24年11月17日 19:10～20:40	1.5 時間	11 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(7)、フィリピン(2)	転職を考える	求人情報の読み方を学び、ハローワークや求人情報誌が読める基礎を学んだ。
19	平成24年11月24日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(6)、フィリピン(2)、ペルー(1)	働くとは	仕事で起こした失敗談について話し合った。また、失敗しないためにどうすればよいのかについても話し合った。
20	平成24年12月1日 19:10～20:40	1.5 時間	6 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(3)、フィリピン(1)	ほうれんそう	迷惑をかけたことを伝え、丁寧に謝罪したうえでどのように対応すればよいかを確認する表現を学んだ。
21	平成24年12月8日 19:10～20:40	1.5 時間	6 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(3)、フィリピン(1)	失敗を報告する	ある社長のことばを読んで、働く時に大切なことについて話し合った。また、仕事などでの失敗談を話し合った。
22	平成24年12月15日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(4)、フィリピン(1)	日本の行事、職場の行事	日本や職場の行事について理解を深めた。また、職場の行事に参加したことがあるか話し合った。
23	平成24年12月22日 19:10～20:40	1.5 時間	5 人	インドネシア(1)、インド(3)、フィリピン(1)	日本語学習発表会	防災をテーマに、寝袋を作ったり防災のゲームを行った。たりした。
24	平成25年1月5日 19:10～20:40	1.5 時間	8 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(4)、フィリピン(1)、アメリカ(1)	職場の行事に参加する	行事を行う際に用意するものを取り上げ、幹事になった設定でやり取りを学んだ。
25	平成25年1月12日 19:10～20:40	1.5 時間	8 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(4)、フィリピン(1)、アメリカ(1)	行事参加の断り方	事情があつて職場の行事に参加できない場合の断り方について学んだ。
26	平成25年1月19日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(6)、フィリピン(1)、アメリカ(1)	料理を教えてもらう	少し顔見知りの近所の人とより親しくなるための会話の広げ方について学んだ。
27	平成25年1月26日 19:10～20:40	1.5 時間	9 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(5)、フィリピン(1)、アメリカ(1)	近所の人と仲良くなる	得意分野や共通点を探し、会話のやりとりが長く続くように工夫した。
28	平成25年2月2日 19:10～20:40	1.5 時間	11 人	インドネシア(1)、インド(8)、フィリピン(1)、アメリカ(1)	日常のあいさつ + α	近所の人とは挨拶のみとなっているため、天気や季節の一言を加える言い方を学んだ。また、引越しの挨拶について触れた。
29	平成25年2月9日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(6)、フィリピン(1)、アメリカ(1)	防災ホットメールに登録する	防災ホットメールを紹介した。また、どのような災害対策を行っているかについても話し合った。
30	平成25年2月16日 19:10～20:40	1.5 時間	9 人	インドネシア(1)、カナダ(1)、インド(5)、フィリピン(1)、韓国(1)	防災	災害が起きた時、どうするのかCANAL HAMAMATSUのホームページにあるチェックシートで確認した。
31	平成25年2月23日 19:10～20:40	1.5 時間	12 人	インドネシア(1)、インド(8)、フィリピン(1)、アメリカ(1)、韓国(1)	災害時の情報ツール	防災ホットメールへの登録の仕方と災害時の情報ツールについて紹介、情報共有を行った。
32	平成25年3月2日 19:10～20:40	1.5 時間	13 人	インドネシア(1)、インド(9)、フィリピン(1)、アメリカ(1)、韓国(1)	電車の中のマナー	電車内のマナー、電車内以外のマナーについて話し合った。また、なぜしなければならない、してはいけないかについても話し合った。
33	平成25年3月9日 19:10～20:40	1.5 時間	13 人	インドネシア(1)、インド(9)、フィリピン(1)、アメリカ(1)、韓国(1)	私の国のマナー	自国のマナーについて日本のマナーと比較し、簡単な文章にまとめて発表することができた。
34	平成25年3月16日 19:10～20:40	1.5 時間	13 人	インドネシア(1)、インド(9)、フィリピン(1)、アメリカ(1)、韓国(1)	渡し方のマナー・年賀状	プレゼントなどを渡す時、もらう時の作法について確認した。また、年賀状の書き方、喪中はがき等について紹介した。

回数	開催日時	時間数	参加人数	国籍	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年7月7日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インド(8名)、インドネシア(1名)、マレーシア(1名)	病院の受付と診察	初診の際に問診表を記入する場面と、体の痛みで診察を受ける場面の会話練習。
2	平成24年7月14日 19:10～20:40	1.5 時間	9 人	インド(8名)、インドネシア(1名)	病院の受付と診察	日本に来たばかりの時に困ったことと、助けてもらうためにどんな表現を使えばいいか学ぶ。
3	平成24年7月21日 19:10～20:40	1.5 時間	5 人	インド(4名)、インドネシア(1名)	病院の受付と診察	診察の予約が可能であるかどうかの確認と、予約する会話練習。派生して、旅行の際に予約をする練習もした。
4	平成24年7月28日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(6名)、インドネシア(1名)	診察を受ける	風邪を引いた設定で会話練習。いつからの症状か伝えたり、薬の飲み方を理解したりできるようにする。
5	平成24年8月4日 19:10～20:40	1.5 時間	6 人	インド(6名)	診察を受ける	日本に来てからの経験を話す。また、その経験がどうであったか感想を尋ねる。
6	平成24年8月18日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(6名)、インドネシア(1名)	診察を受ける	体調不良を訴えている友人や知人に、症状を緩和させるためのアドバイスをする会話練習。
7	平成24年8月25日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(6名)、インドネシア(1名)	医師が伝えた内容を理解する	診察場面での会話練習。医師が普通体で話をしても、話分かるようにする。
8	平成24年9月1日 19:10～20:40	1.5 時間	5 人	インド(4名)、インドネシア(1名)	医師が伝えた内容を理解する	親しくない人や上司と友人とでは話し方に違いがあることを知り、友人との会話練習をする。
9	平成24年9月8日 19:10～20:40	1.5 時間	6 人	インド(4名)、インドネシア(2名)	医師が伝えた内容を理解する	早退や明日の出勤について上司と話ができるようにする。上司とのやり取りで普通体を混ぜて話さないようにする。
10	平成24年9月15日 19:10～20:40	1.5 時間	6 人	インド(3名)、インドネシア(2名)、マレーシア(1名)	医師の言ったことを確認する	医師の言ったことを会社に連絡することができる。ロールプレイで練習。
11	平成24年9月22日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(4名)、インドネシア(2名)、マレーシア(1名)	医師の言ったことを確認する	知人が病気にかかった時、お見舞いとしてどんなものを持って行くのがいいか考える。
12	平成24年9月29日 19:10～20:40	1.5 時間	8 人	インド(5名)、インドネシア(2名)、マレーシア(1名)	医師の言ったことを確認する	医師に言われたことを友人に伝える。友人間で話の内容を伝え合うことができる。
13	平成24年10月6日 19:10～20:40	1.5 時間	6 人	インド(4名)、インドネシア(1名)、マレーシア(1名)	処方箋を渡して薬を受け取る	処方箋を薬局に持って行き、薬を出してもらうことができる。薬の飲み方も確認できる。
14	平成24年10月13日 19:10～20:40	1.5 時間	9 人	インド(6名)、インドネシア(2名)、マレーシア(1名)	処方箋を渡して薬を受け取る	いい先生がいる病院など、具体的な条件をつけていい病院や店を紹介してもらうことができる。
15	平成24年10月20日 19:10～20:40	1.5 時間	6 人	インド(5名)、インドネシア(1名)	処方箋を渡して薬を受け取る	時間がないなどの理由をつけて、話し相手からの申し出を断る。
16	平成24年10月27日 19:10～20:40	1.5 時間	6 人	インド(6名)	薬局で薬をさがす	薬局で自分が必要とする市販薬が探せ、その使い方を確認する会話練習。
17	平成24年11月10日 19:10～20:40	1.5 時間	9 人	インド(5名)、インドネシア(3名)、マレーシア(1名)	薬局で薬をさがす	ドラッグストアで売っている物にどんなものがあるか話す。また、探し物がどこにあるか尋ねる。
18	平成24年11月17日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(3名)、インドネシア(3名)、マレーシア(1名)	薬局で薬をさがす	体調不良を起こしている人に対して、症状を緩和させるためのアドバイスをする練習を行う。
19	平成24年11月24日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(3名)、インドネシア(4名)	注意書き等を理解する	職場や街頭で見かける標識や看板に書かれている文字や意味が分からない時、それらを尋ねることができるようにする。
20	平成24年12月1日 19:10～20:40	1.5 時間	8 人	インド(4名)、インドネシア(4名)	注意書き等を理解する	イベントなどのちらしから「雨天中止」など重要な情報を読み取り、予定を立てる練習をする。
21	平成24年12月8日 19:10～20:40	1.5 時間	6 人	インド(4名)、インドネシア(2名)	注意書き等を理解する	上司からの作業指示を聞き取り、指示通りに適切に行動できるようにする。
22	平成24年12月15日 19:10～20:40	1.5 時間	6 人	インド(4名)、インドネシア(2名)	助けを求める	事故や火事などの緊急時に、知人に助けを求める会話練習を行う。
23	平成24年12月22日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(3名)、インドネシア(4名)	防災	防災をテーマに学習発表会を行う。防災に関してのスピーチや防災食の試食などを行う。
24	平成25年1月5日 19:10～20:40	1.5 時間	5 人	インド(1名)、インドネシア(4名)	助けを求める	誰かに助けや手伝いを求めるだけでなく、反対に手伝いを申し出ることができるよう会話練習をする。
25	平成25年1月12日 19:10～20:40	1.5 時間	6 人	インド(1名)、インドネシア(5名)	助けを求める	職場で手伝ってもらえるように依頼したり、それに対しお礼を言ったりすることができる。
26	平成25年1月19日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド(2名)、インドネシア(4名)、マレーシア(1名)	避難場所・方法を理解する	地震が起きたら、どこに家族や知人と集まるか、どうやって連絡を取ると決めているか話す。
27	平成25年1月26日 19:10～20:40	1.5 時間	8 人	インド(3名)、インドネシア(4名)、マレーシア(1名)	避難場所・方法を理解する	災害用伝言ダイヤルの使い方を覚える。伝言ダイヤルに残すメッセージを考える。

28	平成25年2月2日 19:10～20:40	1.5 時間	8 人	インド(3名)、インドネシア(4名)、マレーシア(1名)	避難場所・方法を理解する	地震が起きた際に、水や食料など必要なものがどこで手に入るか尋ねる会話練習をする。
29	平成25年2月9日 19:10～20:40	1.5 時間	9 人	インド(4名)、インドネシア(4名)、マレーシア(1名)	身を守る	スーパーで自分の食生活にあった防災食を探すことができる。
30	平成25年2月16日 19:10～20:40	1.5 時間	8 人	インド(3名)、インドネシア(4名)、マレーシア(1名)	身を守る	外出先で地震が起きた場合、場所に応じて適切な行動が取れるよう話し合う。
31	平成25年2月23日 19:10～20:40	1.5 時間	5 人	インド(2名)、インドネシア(2名)、マレーシア(1名)	身を守る	災害時に必要なものが何であるか、何を備えておくべきかを考えて話す。
32	平成25年3月2日 19:10～20:40	1.5 時間	9 人	インド(4名)、インドネシア(4名)、マレーシア(1名)	台風について理解する	台風によってどんな支障が起きるか、何に注意するか話す。また、日常生活の中で感じる有難みについて話す。
33	平成25年3月9日 19:10～20:40	1.5 時間	11 人	インド(4名)、インドネシア(6名)、マレーシア(1名)	台風について理解する	危険から身を守るため、やめたほうがいいと思うことを相手に伝えることができる。
34	平成25年3月16日 19:10～20:40	1.5 時間	9 人	インド(4名)、インドネシア(4名)、マレーシア(1名)	台風について理解する	自国と日本の習慣の違いを考える。日本でのマナーやルールを知る。

ジャボラにほんご教室 報告書 研修生12～22

担当: 河合世津美

回数	開催日時	時間数	参加人数	国籍	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年7月7日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インド4 フィリピン1 インドネシア5	ポイントカード、割引券を利用する。	会話、日常、実際に遭遇する割引券等に絡む会話を学習する
2	平成24年7月14日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インド4 フィリピン1 インドネシア5	ポイントカード、割引券を利用する。	日本ではどんな割引券やポイントカードがあり、どのように使用できるか話し合う。
3	平成24年7月21日 19:10～20:40	1.5 時間	9 人	インド4 フィリピン1 インドネシア4	ポイントカード、割引券を利用する。	割引券やポイントカードの特典を同僚や他の人に(第三者)説明する。
4	平成24年7月28日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インド4 フィリピン1 インドネシア5	商品の表示を読む	会話、消費期限と賞味期限の違いについて知る
5	平成24年8月4日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インド4 フィリピン1 インドネシア5	商品の表示を読む	商店の独特な言い回しや敬語を学習する。
6	平成24年8月18日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インド4 フィリピン1 インドネシア5	商品の表示を読む	洗剤等の商品など、便利で生活に役立つ商品について学習する
7	平成24年8月25日 19:10～20:40	1.5 時間	10 人	インド6 フィリピン1 インドネシア3	目的によって店舗を使い分ける	会話、所持金等自分の置かれている状況にふさわしい店舗を選ぶ
8	平成24年9月1日 19:10～20:40	1.5 時間	8 人	インド4 フィリピン1 インドネシア3	目的によって店舗を使い分ける	購入希望品が置いてある店舗の総合名を知る。例家具屋
9	平成24年9月8日 19:10～20:40	1.5 時間	8 人	インド4 フィリピン1 インドネシア3	目的によって店舗を使い分ける	店舗に限らず職業について考える。
10	平成24年9月15日 19:10～20:40	1.5 時間	8 人	インド4 フィリピン1 インドネシア3	表示を見たり人に訊ねてほしい物の場所を探す	会話、週末の買出しについて
11	平成24年9月22日 19:10～20:63	1.5 時間	4 人	インド2 インドネシア2	表示を見たり人に訊ねてほしい物の場所を探す	セール品やお買い得品の表示等について知る。またこれらの漢字にも親しむ。
12	平成24年9月29日 19:10～20:40	1.5 時間	7 人	インド3 フィリピン1 インドネシア3	表示を見たり人に訊ねてほしい物の場所を探す	売り場の専門用語について知る。例 お惣菜売り場
13	平成24年10月6日 19:10～20:40	1.5 時間	8 人	インド4 フィリピン1 インドネシア3	返品、交換をする	会話。購入した商品の返品場面
14	平成24年10月13日 19:10～20:40	1.5 時間	5 人	インド4 インドネシア1	返品、交換をする	犯罪に関与しない、巻き込まれないよう日本の軽犯罪について学ぶ
15	平成24年10月20日 19:10～20:40	1.5 時間	8 人	インド4 フィリピン1 インドネシア3	返品、交換をする	トラブルに巻き込まれても泣き寝入りしないようしっかり受け答えする。
16	平成24年10月27日 19:10～20:40	1.5 時間	8 人	インド4 フィリピン1 インドネシア3	支払いをする	会話、おごったり、おごられたり微妙な空気を察する。
17	平成24年11月3日 19:10～20:40	1.5 時間	6 人	インド3 フィリピン1 インドネシア2	支払いをする	内と外、上下関係によって変化するアフター5時等について。
18	平成24年11月10日 19:10～20:40	1.5 時間	8 人	インド4 フィリピン1 インドネシア3	支払いをする	日本でのクレジットカード事情を学ぶ
19	平成24年11月17日 19:10～20:40	1.5 時間	6 人	インド3 フィリピン1 インドネシア2	新聞や折込広告の漢字を理解する	会話、なぜ日本の生活で漢字が必要か

20	平成24年11月24日 19:10~20:40	1.5 時間	5 人	インド2 インドネシア3	新聞や折込広告の漢字を理解する	求人雑誌を読む
21	平成24年12月1日 19:10~20:40	1.5 時間	8 人	インド4 フィリピン1 インドネシア3	復習	広告文を作成する
22	平成24年12月8日 19:10~20:40	1.5 時間	6 人	インド3 フィリピン1 インドネシア2	金融機関を利用する、口座を開設する	会話 仕送りや貯蓄について
23	平成24年12月15日 19:10~20:40	1.5 時間	7 人	インド4 インドネシア3	金融機関を利用する、口座を開設する	家計を見直す
24	平成24年12月22日 19:10~20:40	1.5 時間	6 人	インド2 フィリピン1 インドネシア3	学習発表会	テーマを防災とし、地震の体験談や緊急時の対応を発表した。
25	平成25年1月12日 19:10~20:40	1.5 時間	4 人	インド2 インドネシア2	金融機関を利用する、口座を開設する	上司にメールをする
26	平成25年1月19日 19:10~20:40	1.5 時間	5 人	インド2 フィリピン1 インドネシア2	確認	職務質問に答えることができる
27	平成25年1月26日 19:10~20:40	1.5 時間	6 人	インド2 フィリピン1 インドネシア3	確認	「ぎざぎざ」などの形容する言葉を知り、よりの確に指示を理解する
28	平成25年2月2日 19:10~20:40	1.5 時間	6 人	インド2 フィリピン1 インドネシア3	確認	何かを購入する際の有料オプション等の確認
29	平成25年2月9日 19:10~20:40	1.5 時間	5 人	インド2 フィリピン1 インドネシア2	支払いをする	通信販売を利用することができる
30	平成25年2月16日 19:10~20:40	1.5 時間	5 人	インド2 フィリピン1 インドネシア2	支払いをする	カタログを使つての購入
31	平成25年2月23日 19:10~20:40	1.5 時間	6 人	インド2 フィリピン1 インドネシア3	支払いをする	通信販売を利用する際の確認事項
32	平成25年3月2日 19:10~20:40	1.5 時間	6 人	インド2 フィリピン1 インドネシア3	自力で移動する	災害発生時の移動手段と安否情報の確認について
33	平成25年3月9日 19:10~20:40	1.5 時間	6 人	インド2 フィリピン1 インドネシア3	自力で移動する	災害時の情報収集について
34	平成25年3月16日 19:10~20:40	1.5 時間	6 人	インド2 フィリピン1 インドネシア3	自力で移動する	防災準備について。非常時に移動手段を尋ねることができる

ジャボラにほんご教室 報告書 識字クラス 担当: 竹村昇治

回数	開催日時	時間数	参加人数	国籍	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年7月7日 18:00~19:00	1 時間	9 人	アメリカ(1)イスラエル (1)インド(3)インドネシア (2)ペルー(1)マレー	体	身体に関わる漢字を勉強した。頭、背中、足など
2	平成24年7月14日 18:00~19:00	1 時間	11 人	アメリカ(1)イスラエル (1)インド(3)インドネシア (2)カナダ(1)ジャマイ	家族(1)	家族をテーマに日常に生かせる漢字を学ぶ【語彙】 恋人、人生、他人、大家、家賃、火事など
3	平成24年7月21日 18:00~19:00	1 時間	8 人	アメリカ(1)イスラエル (1)インドネシア(2)カナ ダ(1)ジャマイカ(1)ペ	家族(2)	家族構成と職業をテーマに学ぶ【語彙】父、歯医者、 母、家族、民族、人気女性など
4	平成24年7月28日 18:00~19:00	1 時間	11 人	アメリカ(1)イスラエル (1)インド(3)インドネシ ア(2)カナダ(1)ジャマイ	家族(3)	家族構成について学ぶ【語彙】親戚、親子、子供、夫 婦学生結婚、息子など
5	平成24年8月4日 18:00~19:00	1 時間	7 人	インド(3)インドネシア (1)カナダ(1)ジャマイカ (1)フィリピン(1)	応用問題	家族をテーマに3回シリーズで学んだ学習のまとめをした
6	平成24年8月18日 18:00~19:00	1 時間	7 人	アメリカ(1)インド(3)イ ンドネシア(1)ジャマイカ (1)ペルー(1)	部屋(1)	部屋にある物をテーマに学ぶ【語彙】研究室、寝室など
7	平成24年8月25日 18:00~19:00	1 時間	8 人	アメリカ(1)イスラエル (1)インド(3)インドネシ ア(1)フィリピン(1)ペ	部屋(2)	部屋にある物を漢字で表し、読み書きを学ぶ【語彙】 住宅、消費税、道具など
8	平成24年9月1日 18:00~19:00	1 時間	7 人	インド(3)インドネシア (1)カナダ(1)フィリピン (1)ペルー(1)	部屋(3)	部屋にある物を漢字で表し、読み書きを学ぶ【語彙】 住宅、庭、教室電気など
9	平成24年9月8日 18:00~19:00	1 時間	7 人	アメリカ(1)インド(3)イ ンドネシア(1)フィリピン (1)ペルー(1)	応用問題	3回シリーズで学んだ「部屋」について手、応用問題で 3まとめ
10	平成24年9月15日 18:00~19:00	1 時間	7 人	インド(3)インドネシア (1)カナダ(1)フィリピン (1)ペルー(1)	駐車場	駐車場の利用の仕方から漢字の読み書きを学ぶ【語 彙】無料駐車場、有料駐車場、前向き駐車、駐車禁 止など

11	平成24年9月22日 18:00～19:00	1 時間	7 人	アメリカ(1)インド(3)インドネシア(1)カナダ(1)フィリピン(1)	横断歩道	いつも利用する横断歩道の諸注意をテーマに学ぶ【語彙】押しボタン式信号、左右確認、飛び出すなど
12	平成24年9月29日 18:00～19:00	1 時間	6 人	インド(3)インドネシア(1)カナダ(1)マレーシア(1)	サイン	各種サインをテーマに学ぶ【語彙】非常口、非常階段、頭上注意、足下注意など
13	平成24年10月6日 18:00～19:00	1 時間	6 人	アメリカ(1)インド(1)インドネシア(1)カナダ(1)フィリピン(1)ペルー(1)	駅のホーム	駅の利用の仕方をテーマに日常生活に生かす【語彙】上り方面、先発、普通電車、快速電車など
14	平成24年10月13日 18:00～19:00	1 時間	7 人	アメリカ(1)インド(3)インドネシア(1)カナダ(1)フィリピン(1)	特急電車	電車に乗るケースをテーマに学ぶ【語彙】指定席、自由席、窓側、通路側など
15	平成24年10月20日 18:00～19:00	1 時間	6 人	インド(3)インドネシア(1)カナダ(1)フィリピン(1)	駅	駅のホームの案内や、電光掲示板に表示されている時刻表などが分かるようにする。【語彙】普通、急行、先発等
16	平成24年10月27日 18:00～19:00	1 時間	6 人	アメリカ(1)インド(2)カナダ(1)フィリピン(1)マレーシア(1)	バス	バスを利用する場合をテーマに学ぶ【語彙】現金、料金箱、整理券、優先座席など
17	平成24年11月10日 18:00～19:00	1 時間	6 人	アメリカ(1)インド(2)インドネシア(1)カナダ(1)フィリピン(1)	実践問題	1週間の学びを総括するテストをする
18	平成24年11月17日 18:00～19:00	1 時間	6 人	アメリカ(1)インド(2)インドネシア(1)カナダ(1)フィリピン(1)	レストラン	レストランをテーマに学ぶ【語彙】準備中、閉店、営業中、営業案内など
19	平成24年11月24日 18:00～19:00	1 時間	5 人	アメリカ(1)インド(1)インドネシア(1)カナダ(1)フィリピン(1)	禁煙	「禁煙」をテーマに日本の状況を学ぶ【語彙】当店、全席禁煙、理解、協力など
20	平成24年12月1日 18:00～19:00	1 時間	5 人	アメリカ(1)インド(1)インドネシア(1)カナダ(1)フィリピン(1)	観光地図	観光地図は、生活の中で使われる。これをテーマに学ぶ【語彙】動物園、観光地、美術館、神社など
21	平成24年12月8日 18:00～19:00	1 時間	6 人	アメリカ(1)インド(1)インドネシア(1)カナダ(1)フィリピン(1)マレーシア	外出先で	外出先として行きそうな場所の漢字が分かり、地図上でも場所が分かるようにする。【語彙】寺、空港等
22	平成24年12月15日 18:00～19:00	1 時間	6 人	アメリカ(1)インド(1)インドネシア(1)カナダ(1)ネパール(1)ペルー(1)	街の地図	街の地図をテーマに学ぶ【語彙】駅、市役所、交番、駅前交差点、郵便局など
23	平成24年12月22日 18:00～19:00	1 時間	6 人	アメリカ(1)インド(2)インドネシア(1)ネパール(1)ペルー(1)	病院	よく利用する病院をテーマに漢字を学ぶ【語彙】耳鼻科、産婦人科、外科、整形外科など
24	平成25年1月5日 18:00～19:00	1 時間	8 人	アメリカ(1)インド(1)インドネシア(3)カナダ(1)ネパール(1)ペルー(1)	困ったときは	困ったときの電話番号をテーマに学ぶ【語彙】消防、火事、救急車、警察、事件、事故など
25	平成25年1月12日 18:00～19:00	1 時間	7 人	アメリカ(1)インド(1)インドネシア(2)カナダ(1)ネパール(1)ペルー(1)	実践問題	「出かける」をテーマに1週間間なんだ学習の漢字の読み方、書き方のテストをする
26	平成25年1月19日 18:00～19:00	1 時間	9 人	アメリカ(1)インド(1)インドネシア(4)カナダ(1)ネパール(1)ペルー(1)	要冷蔵	生活の中で使われる冷蔵庫をテーマに漢字を学ぶ【語彙】要冷蔵、要冷凍、生もの、冷暗所など
27	平成25年1月26日 18:00～19:00	1 時間	7 人	アメリカ(1)インド(1)インドネシア(1)カナダ(1)ネパール(1)フィリピン	消費期限	生活の中で使われる消費期限についてをテーマとして学ぶ【語彙】製造年月日、保存方法、賞味期限など
28	平成25年2月2日 18:00～19:00	1 時間	7 人	アメリカ(1)インド(1)インドネシア(3)ネパール(1)ペルー(1)	自動販売機	日常生活の中で頻りに利用される自動販売機をテーマに学ぶ【語彙】増量、原料、砂糖、氷など
29	平成25年2月9日 18:00～19:00	1 時間	6 人	アメリカ(1)インド(1)インドネシア(1)カナダ(1)ネパール(1)ペルー(1)	レシピ	ホットケーキの作り方を題材に、そのレシピで使う漢字を学ぶ【語彙】材料、卵、牛乳、粉、袋など
30	平成25年2月16日 18:00～19:00	1 時間	9 人	アメリカ(1)インド(1)インドネシア(4)カナダ(1)ネパール(1)ペルー(1)	コピー機、留守番電話	毎日の生活の中で使う2つの機械をテーマに漢字を学ぶ【語彙】コピー機、濃い、薄い、部数、用件など
31	平成25年3月2日 18:00～19:00	1 時間	6 人	アメリカ(1)インド(1)インドネシア(1)中国(1)ネパール(1)ペルー(1)	携帯電話	みんなが持つ携帯電話をテーマに漢字を学ぶ【語彙】用件、本文、接続、登録、送信完了など
32	平成25年3月9日 18:00～19:00	1 時間	6 人	アメリカ(1)インド(1)インドネシア(1)中国(1)ネパール(1)ペルー(1)	実践問題	1週間の学びを総括するテストをする
33	平成25年3月16日 18:00～19:00	1 時間	6 人	アメリカ(1)インド(1)インドネシア(1)中国(1)ネパール(1)ペルー(1)	日用品	身の周りの生活必需品の名詞を漢字で読めるようにする、

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

各クラスでの学習を活かすための学習発表会を実施。通常はレベル別に学習を行っているが、学習発表会は6クラスで合同開催し、それぞれが学習した日本語を使って発表を行う。今年度は防災をテーマに開催し、学習者が自身の防災や災害の体験などを発表した。また、防災食の試食や、防災用品がいくつ言えるか競い合うゲーム等を行い、体験を通して防災意識の向上を図った。学習発表会は成果発表や注意喚起だけではな

く、レベルが違う学習者同士や日本語教室の講師以外の地域日本人も参加することで、学習者が新しい日本語を獲得する場ともなっている。



学習発表会で学んだ防災について知識をより深めるための授業を行った。非難地図を用いた非難場所の確認、災害用伝言ダイヤルの使い方、伝言ダイヤルにメッセージを残す際、制限時間が決まっているため、時間内に伝えたい用件を述べる練習を行った。授業では、学習者自身では知りえない生活上の情報を提供したり、より生活しやすくなるための方法を紹介したりしている。



(10) 目標の達成状況・成果

アンケート形式による日本語習得状況について受講者を対象に行った。また、聞き取りによるアンケートも行った。

アンケートでは、『話す・聞く・読む・書く』の4技能を5段階評価にして達成状況を表してもらった。受講者は、教室参加時点に比べ、概ね能力が上がったと評価している。

特に、『話す』『聞く』に関しては、会話を中心とした指導を行った成果が表れていると感じる。『読む』に関しては、テキストやレアリア等を使った結果、読めるようになったと感じているようだ。また、本事業の前の時間に行っている当団体の識字クラスに出席している者もいるため、その影響もあると考えられる。

受講者からは、「授業で学んだ会話を実際に使い、買い物ができる」「防災学習発表会で学んだとおり、防災用品を準備した」などの声が聞かれ、学んだことが実際の生活に活かしていると思われる。

(11) 改善点について

学習者はより多くの日本人と話し、様々な人の話し方に慣れる必要があるが、本年度の取り組みでは、講師は年間を通して同じクラスを担当していたので、クラス間移動のなかった学習者は1年間同じ講師から授業を受けることとなってしまった。この反省を踏まえ、2013年度は1クラスを2人の講師で担当したり、約3ヶ月ごとに講師の担当クラスを変えたりして、学習者がより多くの日本人の発話に接することができるようにする。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称

ジャボラ NPO ボランティア研修会・外国人支援のためのポルトガル語講座

(2) 目的・目標

日本語教育を行う地域ボランティアや学校の教職員が、研修会を通して言語習得や指導法等の正しい知識と情報を獲得し、的確な支援・指導ができるようになる。また、日本語教育を行う上で使用頻度の高いポルトガル語を習得し、支援の助けとする。

(3) 対象者

教職員、地域日本語ボランティア、今後活動したい人

(4) 開催時間数(回数) 64時間 (全 28回)

(5) 使用した教材・リソース

講師作成の資料、オリジナル教材等

(6) 受講者の総数 33人

(出身・国籍別内訳 日本 32人, ブラジル 1人)

(7) 受講者の募集方法

当協会ホームページにて募集・告知。浜松国際交流協会発行のニュースレターへの掲載。チラシ配布。

(8) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年6月30日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	8人	日本(8人)	基本的なあいさつ	日常に使う簡単なあいさつ。朝、昼、晩に場面を分けてあいさつ練習を行った。
2	平成24年7月7日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	8人	日本(8人)	自己紹介(名前、国籍、職業)	SER動詞の導入。自分の名前の紹介。自己紹介(自分の国籍、職業)生徒同士で紹介。
3	平成24年7月21日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	9人	日本(9人)	出身地の言い方	所属、出身地を言う時に使う前置詞 de の使い方、お互いに自分はどこで働いているかを紹介し合った。
4	平成24年7月28日 13:30～16:30	3時間	可美公園 第3研修室	14人	日本(14人)	年少者向けテキストの開発①	1年間のテキスト研究の課程を紹介。第1回テキスト下書きをグループごとに持ち寄り、発表・意見交換。
5	平成24年8月4日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	7人	日本(7人)	物を借りる(この、その、あの)	指示詞、女性名詞、男性名詞の見分け方を問題形式で確認。ポルトガル語での名詞の性との関わりを学んだ。
6	平成24年8月18日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	6人	日本(6人)	誰の物が尋ねる	所有詞と名詞の性と関わり。生徒同士で「これ誰の?」「～のもの」と会話しながら所有詞を活用。
7	平成24年8月25日 13:00～16:00	3時間	男女共同参画推進センター会議室	22人	日本(22人)	外国人児童生徒を対象とした、読書から日本語力を高める指導方法とその効果の判定方法について	読書マラソンの紹介とどのように読書力を判定するか評価法を学んだ。
8	平成24年9月1日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	8人	日本(8人)	家族を紹介する	自分の家族の紹介。自分を基準にして家族の様々な関係の紹介の仕方。自分の家族構成を紹介しながら所有詞を活用。
9	平成24年9月15日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	7人	日本(7人)	カレンダー	数字、月、曜日の物のいい方。生年月日、電話番号をお互い伝え合って数字の練習。
10	平成24年9月29日 9:00～12:00	3時間	ジャボランNPO事務所	16人	日本(16人)	年少者向けテキストの開発②	第2回テキスト下書きをグループごとに持ち寄り、発表・意見交換。
11	平成24年9月29日 14:00～17:00	3時間	アクトシティ36音楽セミナー室	22人	日本(21人)、ブラジル(1人)	支援者と学校の連携	外部支援者と学校がともに子どもの成長を促すためにはどのような連携が必要なのか元学校教員より学んだ。
12	平成24年10月13日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	9人	日本(9人)	教室の指示言葉	教室でよく使う言葉、指示言葉を実際に使う場面と照らし合わせ練習。
13	平成24年10月27日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	5人	日本(5人)	注意を促す(車に気を付けて)	「～に気を付けて」。信号をわたるというシチュエーションを指導する時に使うフレーズを練習。
14	平成24年11月10日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	9人	日本(9人)	願望を話す(トイレに行きたい)	願望を伝える時の動詞、QUERER動詞の使い方を学習。自分のしたい、欲しい物事をお互い伝えながら練習。
15	平成24年11月17日 9:00～12:00	3時間	ジャボランNPO事務所	12人	日本(12人)	年少者向けテキストの開発③	第3回テキスト下書きをグループごとに持ち寄り、発表・意見交換。
16	平成24年11月17日 13:30～16:30	3時間	南部公民館第1講座室	13人	日本(13人)	ことばのテーブルの教材を使った、着実・丁寧なことばの指導法を学ぶ	発達障害の子ども達のための教材を作成している先生をお呼びし、その教材の使い方、子どもへの接し方を学んだ。
17	平成24年11月24日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	6人	日本(6人)	私の生活(7時に起きる)	時間表現の練習。自分の普段の一日の予定を伝えながら練習。
18	平成24年12月8日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	8人	日本(8人)	趣味、好きな事話す	GOSTAR動詞の使い方。自分の興味、好きな物を伝えあいながら練習。
19	平成24年12月22日 10:00～12:00	2時間	駅南共同ビル4階	7人	日本(7人)	予定を話す(9時から6時まで働きます)	時間の～から～まで。の表現。自分の一日の予定を伝え合いながら練習。
20	平成25年1月12日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	6人	日本(6人)	形容詞	形容詞の配置を学習。人物の特徴を上げながら、人あてゲームで形容詞を練習。
21	平成25年1月19日 13:30～17:30	4時間	市民協働センター第3研修室	16人	日本(16人)	年少者向けテキストの開発④	第4回テキスト下書きをグループごとに持ち寄り、発表・意見交換。また、今までのテキストの修正版を持ち寄り、最終確認。
22	平成25年1月26日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	4人	日本(4人)	色の表現	色の表現。今まで習ったQUERER動詞、GOSTAR動詞を使いながら活用練習。
23	平成25年2月9日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	7人	日本(7人)	ESTAR動詞	SER動詞との違いに着目しながら、天気を表す表現。自分の状態を表す表現を学習。
24	平成25年2月23日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	7人	日本(7人)	位置情報	位置情報を表す前置詞。絵の中に何がどこにあるのかを表す。ペアでクイズを出し合いながら練習。
25	平成25年3月2日 10:00～12:00	2時間	駅南共同ビル4階	7人	日本(7人)	現在進行形	進行形の作り方。ESTAR動詞と合わせ現在進行形の練習。
26	平成24年3月2日 13:30～16:30	3時間	浜松商店界連盟事務局会議室	14人	日本(14人)	年少者向けテキストの開発⑤	第5回テキスト下書きをグループごとに持ち寄り、発表・意見交換。
27	平成25年3月9日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	7人	日本(7人)	許可を与える表現	PODER動詞の使い方。学校でやっていたこととためな事を生徒同士で取り上げながら練習。
28	平成25年3月16日 13:30～15:30	2時間	駅南共同ビル4階	7人	日本(7人)	所有物	TER動詞の使い方。ふでばこの中をQ&Aで確認しながら練習。

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

①外国人支援のためのポルトガル語講座

外国人支援を行っている支援者たちが、学習者に日本語を教える際に実際に使う教材を使って、ポルトガル語を学習した。指導に即役立つポルトガル語の習得を目指した。



②ボランティア研修会

講師陣は多彩で、日本語教育研究者、元小学校教員、発達障害のある子どもへの言語指導を行っている方を講師として招聘した。理論から実践的な指導方法まで、こちらも現場に即活かせる内容を揃えた。



(10) 目標の達成状況・成果

受講者によるアンケートをとった。以下は、そのアンケート結果である。

・読書力測定の目的や目標が明確に理解できました。先生のお子さんを通しての実体験のお話も参考になりました。学習の実践ビデオでどんな風に質問しているのか、注意点もわかりました。読書は初級の学習者にとっては負担になり、嫌がる子が多いですが、少しずつでも取り組める工夫をしたいと思います。

・言葉の化石化や助詞の問題等、現在抱えている問題をお話いただき、大変有意義な時間でした。先生が一番おっしゃりたかったこと、「こころ」を言葉に乗せて子ども達とのコミュニケーション、支援を楽しみたいと思います。

以上のように、受講者にとって研修会は好評だったようである。また、実践の場で活かしているとの報告もあった。

(11) 改善点について

本年度の受講生は、外国人に対しすでに支援を行っている者がほとんどだった。地域により多文化共生を広げていくためには、日本語教育の指導方法に特化するのではなく、当事業の日本語教室で開催した防災教室のような、日本語支援に携わっていない日本人市民も参加しやすい企画を立てる必要がある。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

- (1) 教材名称 ジャボラ NPO 生活者のためのテキスト教材研究会
- (2) 対象 ジャボラ NPO にほんご教室担当者
- (3) 目的・目標
受講者層とレベルを考慮したテキストの開発と研究を行い、地域ボランティアが共有できるテキストを作成するとともに、自身のスキルアップを図る。
- (4) 構成
日系人用と研修生用の2種類を作成。各テキスト 33 課。
- (5) 使い方
1回のクラスが 1.5 時間と想定し、1 課で 3 回分(4.5 時間)使用する。1 回目は新出語や設定場面での会話練習、2 回目は課のテーマや 1 回目の会話に関連する活動を講師が用意、3 回目はステップアップとしての応用練習と、テキストの「トピック」を使って学習してきた日本語を活かして学習者が自由発話をし、力を試す。
- (6) 具体的な活用例
1 回目は絵教材やレリアアを用いて学習者にどんな場面での会話をするのか理解させ、それに関する発話を引きだしてから、新出単語を押さえたり、場面に合った会話ができるようにしたりする。2 回目はロールプレイなどの活動を通して、1 回目の学習内容を使いながら運用練習を行う。3 回目はディベートのようにクラス全体で活発に意見を出しながら話し合いを行う。

8. 事業に対する評価について

- (1) 事業の目的
 - ア 日本語教室
目的目標：地域で暮らす外国人住民と日本人との健全な共生社会に寄与する。生活及び仕事に生かせる実践的な日本語会話及び識字指導を行う。
 - イ 外国人児童生徒支援のためのボランティア研修会及び外国人支援のためのポルトガル語講座
目的目標：言語習得や指導法等の知識と情報及び使用頻度の高いポルトガル語を獲得し、的確な支援・指導に結びつける。
 - ウ 生活者のためのテキスト教材研究会
目的目標：受講者層とレベルを考慮したテキストの開発と研究を行い、地域ボランティアが共有できるテキストを作成するとともに、自身のスキルアップを図る。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

ア 日本語教室

- ・当地域は日系人も多い上に、大企業の本社もあることから研修生も多い。同じレベルでも学習目的に違いがあった。学習者の日本語力と学習目的によって6段階に分けることで必要度に応じた指導ができた。
- ・滞日長期者に対しては、学習者居住地域に溶け込めるよう、自治会の存在や目的、マナーやごみ問題も取り上げ、生活者としての会話を中心に、多文化共生に役立つ日本語学習に重点を置いた指導を行った。また、永住を希望している者が多い上級クラスでは、日本語能力試験受験も考慮した指導を行うことで、就職や長期雇用の促進に繋がるよう配慮して学習が行えた。
- ・滞日短期者には生活者としての会話指導を中心に、職場や近隣住民との円滑な関係作りに役立つ学習を行った。
- ・6クラス全てに防災を意識させる学習を必ず行い、東海地域に住む者としての自覚を促し、地域で暮らす外国人住民と日本人との共生社会に寄与できるよう日本語学習を行えた。
- ・総合評価： 学習者アンケートより「話す」「聞く」「読む」「書く」について、学習スタート時、わからない者が大半であったが、終了時にはだいたいわかると答えた学習者が半数を超えた。（*アンケート記載のだいたいわかるは、母語話者の基準とは違う。詳細資料アンケート参照）
- ・ボランティア育成：常時、地域のボランティアに対し見学を許可し、計7名が参加したうち2名は当組織に入会し、資格も備えている事から25年度の事業にも参加することが決定している。

イ 外国人児童生徒支援のためのボランティア研修会及び外国人支援のためのポルトガル語講座

- ・ボランティア研修会全8回出席者数129人 ポルトガル語研修会全20回出席者延べ数142名。
- ・ボランティア研修会は「学校現場」「学習者の評価方法」「教材等の応用」についてそれぞれの分野の各スペシャリストに講義、指導を受け、受講者アンケートから今後活かせる内容であったといえる。
- ・ポルトガル語講座で学習した日本人は、地域で行った「防災教室」に地域の外国人と共に出席し、多文化社会の一員としての自覚を深めた。指導者はアンケートを毎回ブログで発信し理解者増加に繋げた。また日系の多い当地域において、支援者がポルトガル語を学ぶことはボランティア活動の負担が軽減でき、学習者側も心理的に好感度が高く、双方共に有意義であると、受講者から声が寄せられた。

ウ 生活者としての外国人に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案に沿ったオリ

ジナルテキスト作成

・日本滞在が比較的長くなる日系人クラスと、数年で必ず帰国する研修生や留学生等で必要な日本語の会話も変わる。そのためレベルは同じでも2通りのカリキュラムを作った。このことで指導が行い易く、それぞれの学習者にも必要事項が強化できたと考える。カリキュラムは「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案を参考にしつつ、学習者が日本において自立した行動、学習、生活が送れるよう実際に指導者が見聞きしたり経験上で必要と思う内容で構成した。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

受講者の層に沿ったテキストを作成したことにより、25年度の日本語教室において新しく指導に関わる指導者にも負担が少なくなった。更に一部を取り出せば、資格や、経験の少ないボランティア希望者にも使える内容に仕上がった。今後は地域の特色や、防災に関しての学習項目では、優先順位の高い内容を学習段階の早い時期に組み込みなおすなど、随時手直しをしていく。また行政関係が行っている日本語教室ともできる限りタイアップし、双方間で使えるかどうか仕組み作りを働きかけていく。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

日本語教育事業を通し、地域の役にたつとはっきり評価していただいた自治会がある。この地域では25年度、文化庁の同事業において自治会長が委員に就任していただけることとなった。多文化共生を推進するにあたって自治会からこのような評価を得たことは大きな成果である。

(5) 改善点、今後の課題について

・日本語教室は、一地域で6クラス編成にて行ったが、当市は多岐地域に渡って、外国人集住地区が分散している。クラスの編成は予算上小さくなるが、行政の手が及ばない地域時間帯に日本語教室を拡大し、未だ「生活者のための日本語」教室に参加できていない外国人に広く啓蒙していく必要がある。改善点として25年度は3地域で同様の取り組みを行う予定である。

・研修会においては、他組織等でも様々に取り組んでいた。内容や講師が重なっている場合もあり、他組織や行政と密に情報を交換できる仕組みが必要であると感じた。この反省から改善点として25年度はまず行政や他組織と連絡がとりあえるよう、つながり作りを行っていく。

・ポルトガル講座の取り組みは日本人側が学習者の言語を学ぶ事によって、多文化共生について理解し活動人員を増やすことも目的であったが、当初から意識の高い人が多く、活動人員を増やすには至らなかった。改善点として25年度は外国人学習者にとって日本の生活に役立つよう、バイリンガル指導者をロールモデルにした研修会を開き、外国人学習者が日本語教室以外でも参加できるよう配慮し、日本での生活において、教育や地域

活動の参加等、生活上の意識を高められる内容にする。

1) 国はどこですか。.....

中国	4
インド	19
インドネシア	9
フィリピン	2
アメリカ	1
ペルー	7
スペイン	1
マレーシア	1
カナダ	1
ネパール	1
ブラジル	3

2) だれと住んでいますか。.....

ひとり	25
家族	24

どこに住んでいますか。⇒

中区	34
東区	3
西区	3
南区	9

3) どうして日本へきましたか。.....

結婚	3
勉強	3
研修	24
働く	19

4) どうして日本語を勉強していますか。...

生活	13
仕事	26
その他	10

⇒日本人と話したい、趣味、楽しい

5) いつから教室で勉強していますか.....

2009年以前	3
2010年～	7
2011年～	11
2012年～	25
2013年～	3

6) いつ国へ帰りますか.....

帰らない	8
わからない	13
2013年	9
2014年	19

7) 家で勉強しますか。.....

いいえ	15
はい	34

⇒

30分ぐらい	16
1時間ぐらい	21
1時間半ぐらい	7
2時間以上	5

8) 日本語が上手になりましたか。

評価基準:

話す	1:自己紹介ができる 2:誘ったり相談したりできる 3:予定や様子を伝えられる 4:自分の意見が伝えられる 5:相手の意見に反論できる
聞く	1:名前や国籍等簡単な自己紹介が理解できる 2:誘ったり相談されたりした内容が理解できる 3:予定や様子を聞いて理解できる 4:相手の意見を聞いて理解できる 5:生活の中での会話はほとんど理解できる
読む	1:ひらがな・カタカナが読める 2:10程度のまとまった文章が読める 3:短い話が読める 4:N4程度の漢字が入った文章が読める 5:N3程度の漢字が入った文章が読める
書く	1:ひらがな・カタカナが書ける 2:短かくてもいいから文章が書ける 3:日記が書ける 4:N4程度の漢字が入った文章が書ける 5:N3程度の漢字が入った文章が書ける

		評価	人数								
話す	前(教室参加時点)	5		4		3	22	2	11	1	16
	今(平成25年3月)	5	5	4	22	3	17	2	5	1	
聞く	前(教室参加時点)	5		4	2	3	14	2	13	1	20
	今(平成25年3月)	5	5	4	19	3	22	2	3	1	
読む	前(教室参加時点)	5		4	5	3	15	2	12	1	17
	今(平成25年3月)	5	6	4	18	3	25	2		1	
書く	前(教室参加時点)	5		4	3	3	14	2	9	1	23
	今(平成25年3月)	5	1	4	16	3	19	2	8	1	5

外国人児童生徒を対象とした、 読書から日本語力を高める指導法と その効果の判定方法

文化庁委託事業 主催：ジャボラNPO

子どものレベルにあった本を読み、対話することで、達成感・自尊感情を育み、
読書の好きな子どもになるきっかけとなります。

外国人児童生徒の学習言語能力(読みの力)を高める指導法を学びませんか。

また、読書力測定ツールを使った効果の判定方法についても学びます。

日付：平成24年 **8月25日** (土)

時間：13:00~16:00

場所：男女共同参画推進センター 会議室

(浜松市中区中央1-13-3)

講師：櫻井 千穂先生 (大阪大学 非常勤講師)

参加費：無料



お問合せ

特定非営利活動法人
日本語教育ボランティア協会(ジャボラNPO)

電話:

メール:

<http://www.jyabora-npo.com/>



支援者と学校との連携

文化庁委託事業 ジャボラNPO研修会

浜松市では、はまっこ、まなぶん、KSC等、多くの団体がさまざまな支援形態でボランティアとして活躍しています。学校との連携がうまくいくかどうか、よりよい支援への分かれ目となります。

ボランティアとして支援に入る以上、子どもの成長へつなげる支援を行うことは必須です。『必要な連携の仕方のノウハウ』を学びましょう。

日にち：平成24年 **9月29日**（土）

時間： 14：00～17：00

場所：アクトシティ 36音楽セミナー室
（楽器博物館 3階）



講師：近田 由紀子先生（大阪大学大学院 連合小児発達学研究所 博士課程）

内容：講義（実践例の紹介）、ワークショップ

参加費：無料

◎近田由紀子先生のご紹介

浜松市公立小学校で長年にわたり帰国・外国人児童教育に携わる。平成24年3月早期退職をし、大隈大学大学院発達学研究所に入学。現在は学業の他、文部科学省国際教育家「日本語指導が必要な児童生徒を対象とした指導の在り方に関する検討会議」協力者、東京学芸大学国際教育センター「JSL研修会」講師等も務めている。

九九が全く覚えられない。
何度教えても算数が解けない。
漢字が覚えられない。
学校に子どものことをどのように伝えたら
よいかわからない・・・
なので、

「毎回、見守りだけの支援に
なってしまう」

ということはありませんか。



お問合せ

特定非営利活動法人 日本語教育ボランティア協会（ジャボラNPO）

電話：

メール：

<http://www.jyabora-npo.com/>

一番使える
教材で

指導方法を学ぼう！

文化庁委託事業 ジャボラNPO研修会

子どもへの指導で使いやすいのが『葛西ことばのテーブル』のワークです。葛西ことばのテーブルでは、言語障害や学習障害をもった子ども達への言語・学習指導を行っています。

長年培われた経験から生まれた、ことばのテーブルの教材の著者兼指導者である三好先生を迎えて、着実・丁寧なことばの指導法を実践的に学びます。

日にち：平成24年11月17日（土）

時間： 13：30～16：30

場所：南部公民館 第1講座室

（浜松市中区海老塚2-25-17）

講師：三好 純太先生（葛西ことばのテーブル 代表）

参加費：無料



お問合せ

特定非営利活動法人
日本語教育ボランティア協会（ジャボラNPO）
電話：
メール：
<http://www.jyabora-npo.com/>